

	ねらい	主な学習活動	評価規準	子どものつまずきに対する 主な指導・援助
1	雄大なふじ山の様子を思い浮かべながら、伸び伸びと歌うことができる。	<p><b>ふじ山</b></p> <p>大きくて美しい日本一のふじ山を思い浮かべて歌おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挿し絵を見ながら範唱を聴き、曲の感じをつかむ。</li> <li>歌詞を朗読したり、ふじ山について知っていることや経験したことなどを発表し合ったりする。</li> <li>旋律や歌詞を覚えて歌う。</li> </ul>	<p><b>表現の技能</b></p> <p>雄大なふじ山の様子を思い浮かべながら、拍の流れに乗って歌おうとしている。</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>拍の流れに乗って歌うことができない。</p> <p><b>評価</b></p> <p>歌唱練習の様子</p> <p><b>指導・援助</b></p> <p>身体を揺らしながら歌ったり、拍の流れに乗って歌っている仲間を紹介したりする。</p>
2	歌詞の表す情景や旋律の流れを感じ取り、強弱をつけながら歌うことができる。	<p>音譜の動きを見て、それに合う強弱をつけて歌おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旋律線をたどりながら歌詞唱する。</li> <li>旋律の抑揚を生かした強弱のつけ方を話し合う。</li> <li>旋律の抑揚を感じ取り、強弱をつけて歌う。</li> <li>グループごとに発表し、聴き合う。</li> </ul>	<p><b>表現の技能</b></p> <p>旋律が上がる場所では強く、下がる場所では弱く歌っている。</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>旋律の動きがわからない。</p> <p><b>評価</b></p> <p>練習の様子</p> <p><b>指導・援助</b></p> <p>黒板に旋律の音の動きを記し、一番盛り上がる場所が山の形になっていることを見つけ、その動きを生かして強弱をつけるようにする。</p>
3	歌詞の表す情景を想像し、様子を思い浮かべて、曲の山を意識して歌うことができる。	<p>ふじ山を思い浮かべながら、盛り上がりをつけて歌おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旋律の動きから、曲の山はどこかを話し合う。</li> <li>グループに分かれて、曲の山をつけて練習する。</li> <li>グループごとに発表し、聴き合う。</li> </ul>	<p><b>表現の技能</b></p> <p>音の響き合い、盛り上がりを感じて、演奏することができる。</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>曲の盛り上がりがない。</p> <p><b>評価</b></p> <p>練習の様子</p> <p><b>指導・援助</b></p> <p>盛り上がりを付けるためには、出だしの大きさをどうしたらよいのかななどを教える。</p>
4	「ファ」の運指を覚えて、ねむたいこねこの様子を思い浮かべながら、リコーダーで演奏することができる。	<p><b>ねむたいこねこ</b></p> <p>眠たそうなこねこを思い浮かべて、やわらかい音で演奏しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>範奏を聴き、曲の感じをつかむ。</li> <li>範奏を聴きながら、階名唱する。</li> <li>「ファ」の運指を覚え、安定した響きが出せるように練習する。</li> <li>タンギング唱しながら運指の練習と息つぎの確かめをする。</li> <li>眠たそうなこねこの様子を思い浮かべながら、柔らかい音色で吹く。</li> </ul>	<p><b>表現の技能</b></p> <p>「ファ」の運指をおぼえて、息の強さやタンギングに気を付けて演奏している。</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>正しい音が出ない。</p> <p><b>評価</b></p> <p>練習の様子</p> <p><b>指導・援助</b></p> <p>音が低くなれば低くなるほど柔らかくてあたたかい息を出さないと音がでないことを教え、息の使い方、運指の確認をする。</p>
5	「ミ」の運指を覚えて、そよ風にふかれるはっぴの様子を思い浮かべながら、リコーダーで演奏することができる。	<p><b>はっぴとそよ風</b></p> <p>そよ風にふかれるはっぴの様子を、リコーダーで演奏しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>範奏を聴きながら、旋律の流れや感じをつかむ。</li> <li>はっぴとそよ風の様子を想像し、思ったことを発表し、演奏に生かす部分を考える。</li> <li>音楽用語の意味を知り、演奏する順番がわかる。</li> <li>のパートを階名唱し、「ミ」の運指を覚える。</li> <li>のパートをリコーダーで演奏する。</li> </ul>	<p><b>表現の技能</b></p> <p>互いの音の響き合いに関心をもって演奏しようとすることができる。</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>正しい音が出ない。タンギングができない。</p> <p><b>評価</b></p> <p>練習の様子</p> <p><b>指導・援助</b></p> <p>息の使い方を教える。 コーナー学習を用いた練習方法を取り入れる。</p>

6	音の重なりを意識して、リコーダーで演奏することができる。	<p>お互いのパートを聴き合って演奏しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「ミ」の音の運指を確認し、階名唱する。</li> <li>• のパートを階名唱、タンギング唱し、リコーダーで演奏する。</li> <li>• ファラド、ミソドの低い音から高い音へ、また、その反対も練習する。</li> <li>• とのパートを合わせて演奏する。</li> </ul>	<p>感受・表現の工夫</p> <p>伸ばす音と動く音の小節での響きを聴き合って演奏している。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>指がうまく動かない。</p> <p>評価</p> <p>練習の様子</p> <p>指導・援助</p> <p>ペア学習、グループ学習を取り入れて、できる子ができない子にじっくり教えてあげられるよう学習方法をとる。</p>
7	挿絵やジャングルの様子、登場する動物たちの動きを想像しながら、オーケストラの楽器の音色を感じ取って聴くことができる。	<p>ジャングル大帝</p> <p>アフリカのジャングルやそこに住む動物たちの様子を思い浮かべながら聴こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 教科書の挿絵やビデオを見て、イメージをもつ。</li> <li>• 物語のあらすじを知り、アフリカの大地を想像しながら聴く。</li> <li>• 演奏している楽器の音色や響きを感じ取り、動物たちがどんな動きをしているのかを想像して身体を動かしながら聴く。</li> <li>• 演奏している楽器の音色や響きを感じ取って聴く。</li> </ul>	<p>鑑賞の能力</p> <p>楽器の音色や挿し絵などから、アフリカの大地のイメージを広げながら聴いている。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>交響詩の演奏からジャングルの様子を思い浮かべることができない。</p> <p>評価</p> <p>鑑賞の様子、ワークシート</p> <p>指導・援助</p> <p>大きな楽器の音、小さい楽器の音、低い楽器の音、高い楽器の音、それぞれを聞かせ、どんな動物が想像できるかを話し合う。</p>
8	各場面の雰囲気を感じ取り、様子に合った歌い方をすることができる。	<p>かさじぞう</p> <p>おじいさんの様子を思い浮かべながら歌おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 紙芝居や絵本を読み、話の概要を知る。</li> <li>• 気持ちを込めて朗読したり、歌ったりする。</li> <li>• じいさまやばあさま、おじぞうさんたちの台詞を考え、歌の合い間に入れてみる。</li> <li>• 各場面の様子や登場人物の気持ちについて話し合い、言葉の発音や発声、曲の速さや強弱などについて考え、歌い方に生かす。</li> </ul>	<p>感受・表現の工夫</p> <p>各場面の様子や登場人物の気持ちが表れるように、発声、強弱を変えながら歌っている。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>各場面の雰囲気を感じ取ることができない。</p> <p>評価</p> <p>練習の様子、ワークシート</p> <p>指導・援助</p> <p>1番～3番までの場面を書いたワークシートを使用し、各場面について話し合い、様子を確かめ合う。</p>
9	リコーダーや朗読を加えて演奏することができる。	<p>語りやリコーダーを入れて歌ったり演奏したりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• リコーダーのパートを階名唱、タンギング唱して演奏の練習をする。</li> <li>• リコーダーを朗読のBGMや間奏として合わせる。</li> <li>• 場面を選び、グループ内で役割を決めて、練習する。</li> <li>• 朗読、リコーダーを加えて表現する。</li> </ul>	<p>表現の技能</p> <p>BGMや間奏としてのリコーダーを、物語に合わせて、タイミングよく入れて演奏している。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>リコーダーなどを入れて、スムーズに曲を演奏できない。</p> <p>評価</p> <p>練習の様子</p> <p>指導・援助</p> <p>曲がつながっていると意識をさせ、途中で止まらないように、リコーダーが入るタイミング、歌が入るタイミングをグループ練習だが、全体でも合わせ覚えさせる。</p>
10	歌、朗読、リコーダー、効果音を合わせて、表情豊かに歌ったり演奏したりすることができる。	<p>場面に合った効果音を加えて、工夫して演奏しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 効果音をどこに入れるのかを考えて音づくりをする。</li> <li>• 効果音を入れるところを練習する。</li> <li>• 歌、朗読、リコーダー、効果音を合わせる。</li> </ul>	<p>表現の技能</p> <p>自分たちのイメージを広げ効果音やリコーダー演奏を加え表現を楽しんでいる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>効果音が入れられない。</p> <p>評価</p> <p>練習の様子</p> <p>指導・援助</p> <p>ワークシートで、場面の様子を考えた時に他にどんな音がしそうかを考えておき、その音に合った楽器を選ばせ入れる。音を入れるタイミングは、教師が範奏して聴かせる。</p>